

◆第十九回 合唱祭

二月十四日(水)午後一時より佐藤記念講堂で開催されました。

高一――3組小西麻衣さんによる、「合唱は個人プレーではありません。練習を通してチームワークの大切さや難しさを学びました。そんな私たちの成長を最後まであたたかく見守っていただきたく思います」という開会の辞の通り、限られた時間を上手くやり繰りして、自発的なクラス練習で、本番までに素晴らしいハーモニーを作り上げてくれた運営委員の皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

また、今回初めての試みとして、保護者の方々(二十五名)によるコーラスの発表もありました。今年の受賞クラスと演奏曲は、次の通りです。

おめでとう。

まだ、今回初めての試みとして、保護者の方々(二十五名)によるコーラスの発表もありました。今年の受賞クラスと演奏曲は、次の通りです。

- うに思いますが、「歌おう」とする姿勢が良かったと思います。
- 例年に比べ曲間の私語も多く、リラックスした雰囲気で、少し今までとは違った感じでしたが、のびのびしていて良かったです。
- 表彰式では皆さん のキドキが伝わり、こちらも緊張感があり、良かったです。

### 《各学年・合唱部の演奏》

- 学年が上がるごとに完成度が増し、上級生の方々が下級生の良い手本となっていて、すばらしいと感じました。
- 高校生が歌い出したら、会場の空気がサーキュレーションしていくのがわかり、鳥肌が立つた。高校生になるとこんなにも表情豊かな声になるのかと感心しました。
- 合唱部はさすがにすばらしく、聴き惚れました。



《保護者——父母》

- うに思いますが、「歌おう」とする姿勢が良かったと思います。
  - 例年に比べ曲間の私語も多く、リラックスした雰囲気で、少し今までとは違った感じでしたが、のびのびしていて良かったです。
  - 表彰式では皆さん のキドキが伝わり、こちらも緊張感があり、良かったです。

### 《各学年・合唱部の演奏》

  - 学年が上がるごとに完成度が増し、上級生の方々が下級生の良い手本となっていて、すばらしいと感じました。
  - 高校生が歌い出したら、会場の空気がサーキュレート変わっていくのがわかり、鳥肌が立つた。高校生になるとこんなにも表情豊かな声になるのかと感心しました。
  - 合唱部はさすがにすばらしく、聴き惚れました。

先生方のご動静

平成29年5月以降



プログラム表紙  
由一一2組 清川莘々歩

計報

- 八期生 齋藤 武夫さん  
平成二十八年十一月十八日(土)  
十期生 田代 弘明さん  
平成二十九年四月ご逝去